

## 7 番（小川義昭君）

2 番目の質問です。

今回の低投票率について、一般には昨今社会全体に広がる閉塞感や政治への不信、嫌気、無関心が指摘され、これが市民の投票行動にも影響していると思われます。私自身、今回の選挙戦を通して市民の皆さんの間では、さきの議会が議決した定数の削減はよしとしながら、一方で議員報酬を引き上げたことに疑問と不信を持つという声を多々耳にいたしました。市民の生活感覚と離れたことを勝手に決めていく市政と行政にはついていけないといい、賛成議員の資質を疑問視する声も強く、率直に言って市民の議会離れや政治離れを強く感じさせました。

ちなみに、関係選挙の投票率は、8 年前の市議会選が 72.4%、直近では今回の市議会選が 64.65%、昨年末の平成 24 年 12 月の衆議院選挙が 62.38%、平成 23 年 4 月の石川県議会議員選挙は 53.32%、平成 22 年 12 月の白山市長選挙に至っては 49.56% でありました。

そこで、1 点目の質問をいたします。

今回の選挙結果における年齢別投票率を把握していると思われませんが、その数値を示していただきたい。

2 点目、今回の投票率の低下要因をどのように分析、把握されているのか。また、投票参加の意義、重要性をどのように考えておられるのか、

以上、2 点について再度、質問いたします。